

豪州・ペンリス市 春ゆめの大自然交流合宿に参加して Nさんの場合

ある年の9月、私はある中学校の教頭先生と、彼女の担任の先生、女性カウンセラーの訪問を受けた。私の長女の母校であるこの中学校の養護教諭が、たまたま数年前、私が主宰した心理カウンセリング講座に参加したことと、この女性カウンセラーが私が役員を務めている藤枝市国際友好協会の会合で、前年のこの交流合宿の成果を知ったため、今回の訪問になった。相談は彼女の不登校にどう対処したらいいかとのことだった。不登校と言っても、学校には行っているが、授業に入れないとのことだった。イギリスに行ったこともあり、外国には興味があるとのこと、今回の交流合宿を紹介したいとの話だった。

今回のこの交流合宿は、前年のこの交流合宿で好評を得たダンスショーを活動のメインに置いた。例年通り、この月からスタッフ会議を始め、交流合宿の内容を詰め、準備を進めた。12月募集を開始し、これも例年通り、ホームページだけの募集で10日間で募集定員に達した。年が明けた1月10日、藤枝市文化センターで実施説明会を開いた。交流合宿前の事前研修の日程や、交流合宿の目的、日程、ペンリス市等について参加スタッフが交代で一通り説明した後、ブレイクダンスの世界では有名なプロダンサー・TSUYOSHI君が今回の交流合宿のメインのダンスショーを紹介した。彼の心強いご協力を得た。参加者の意志を尊重して参加自由とした。TSUYOSHI君が最後に「参加したい子は一緒にやりましょう！」と呼びかけてくれた。実施説明会終了後、会場の片づけを始めたら、Nちゃんが私と談笑していたTSUYOSHI君のところに来て、「TSUYOSHI先生、ダンスを一緒にやらせて下さい。お願いしま〜す！」と元気のいい声で話しかけてきた。TSUYOSHI君もちよっとびっくりしたが、「うん。やろう！ありがとう！」と、彼女の肩に手をかけてくれた。彼女の満願の笑みは印象的だった。この日に採った彼女の心理テストに、既に変化が現れていた。CP（父性）63、NP（父性）93、A（知性）37、FC（感性）80、AC（順応性）83であった。不登校の素因になるAC（周りの視線が気になる程度）はやはり高い。しかし、それと相反するFCは高く、自分の行動をコントロールするCPも高いことから、この交流合宿による不登校の解消は見えた。

参加者も確定し、結果、参加者全員ダンスショーに参加することになった。2月11日、1回目の参加者交流会が藤枝市内のれんげ寺公園で行われた。実施説明会で採った心理テストを元に、参加者を10名前後のグループ4つに分け、それぞれのグループのリーダー達が様々なゲームを行った。Nちゃんの明るい笑顔もあった。今回は5人の不登校、ないしは不登校気味の児童・生徒達が参加した。最後に、参加者全員また心理テストを採った。本交流合宿では、参加者の状態を把握するため、頻繁に心理テストを採る。リーダー達は1,2人が何となく分かったが、他は全分からなかつたと言う。その夜、心理テストを分析したら、彼女の心理テストが大きく変化していた。CP（父性）20、NP（父性）100、A（知性）12、FC（感性）100、AC（順応性）63。遂に、ACとFCの逆転が起こった。今日の交流会が余程楽しかったのか、CPとAがグッと下がり、何よりもFCがACを抑えて

一番高い値を示した。早速中学校に連絡し、そろそろ彼女の自信のある教科から授業に参加する旨を伝えた。学校側は私の言葉に驚いた。しかし、確かに2月24,5日頃、彼女は英語から授業に出始めた。3月に入ると、この交流合宿も毎週土曜日に集まり、英会話研修とミーティングに、ダンスの練習を行った。この頃には彼女も全教科の授業に出るようになり、不登校は解消した。この交流合宿の帰路4月5日、飛行機の中で採ったエゴグラムでは、CP（父性）77、NP（父性）70、A（知性）87、FC（感性）83、AC（順応性）45と、CPとFCは完全に成長し、Aも成長を果たし、物事をしっかりと考えるようになり、自信もうかがわれる。下記の彼女のこの交流合宿の感想を読むに、おそらく自分のふとした言葉が友達を傷つけてしまった（事実はわからないが）と思い悩んで、クラスに入っていけなかったのだろう。ところが、この交流合宿で人と交わる術を経験で得たのでしよう。

Nさん 14歳

とても楽しい旅でした！！最初は本当に心配でした。どんなバディ（ペンリス市のペアの友達）となるのか、たくさんの人と寝泊りするので必要以上に疲れたり、相手を傷つけてしまわないか…と心配・緊張はつきませんでした。でも、もうすぐ日本に帰る今は、自信を持って素晴らしい旅だったと言えます。バディはミリンダというとても優しい子でたくさん話しかけてくれました。ミリンダの友達・ローレンという女の子とも仲良くなれました。英語も思った以上に話せ、相手の話を聞いて笑うこともできました。必要以上に疲れることも、誰かを傷つけてしまうこともなかったように思います。たった三日間だったけど、ハードで毎日疲れきったりもしたけど、日本の家で1日のんびり過ごすよりよっぽど心の休養になりました。自分の英語に自信を持てるようになりました。大勢の中でもやっていける力をもらいました。新しい日本人・オーストラリア人の友人がたくさんできました。一生忘れられなくなるような思い出が数え切れない程できました。やっぱり疲れもあるけど、とても楽しかったです。通訳さんに話を聞くこともできました。私自身の知識や力になることが本当に多かったです。私にはまだまだ未熟なところがたくさんあるからスタッフのみなさんや周りの子達、バディなどのたくさんの人たちに迷惑をかけてしまったとおもいます。なので、掛けてしまった迷惑に対して謝りたいですが、たくさん感謝もしたいと思います。行かせてくれた両親、山下先生、スタッフの皆さん、友達、バディに楽しい時間を過ごさせてくれた人に「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。またこれかたあるかもしれないチャンスを逃さずにたくさん事を学んでいきたいです。

平成21年10月1日

。